

7

野焼き作業の省力化及び野草地利用を支援する防火帯兼管理道等整備事業

- 実施主体 環境省 九州地方環境事務所
- 実施場所 阿蘇市西小園牧野、南小国町扇牧野
- 実施期間 令和2年3月～令和2年8月（R2完了の繰越工事）



<背景・ねらい>

阿蘇の草原は永年にわたりそこで生活する人々の手によって維持されてきた文化的な遺産であり、その広大な草原を維持していくためには、野焼き作業が不可欠であるが、近年、草原を利用・管理している牧野組合は従事者の高齢化や後継者不足により野焼きをはじめとした維持管理活動が困難な状況となってきた。

このことを受けて、作業道や防火帯を整備することにより、輪地切りや野焼きの際に使用する刈り払い機や動力噴霧器等を管理用車両等で運ぶことが可能になるなど、労力の軽減、安全性・効率の向上を図ることができる。また、未利用野草地の利用拡大も期待される。

作業道や防火帯等の整備は、九州地方環境事務所が牧野にて実施する野草地保全活動を支援するメニューの一つである。

■実施概要

- ・輪地切り及び野焼き時の管理作業の労力軽減を図るため、防火帯を兼ねた管理道整備工事に着手。なお、入札不調対策として、牧野単位の発注を見直し、二牧野をまとめ発注ロットを拡大し工事実施中。実施内容は下記のとおり。
 - * 西小園牧野 : 管理道整備工事 延長 322m
 - * 扇牧野 : 管理道整備工事 延長 360m



西小園牧野（工事予定地）

■実施体制

- ・過年度に牧野組合と協働で作成した野草地環境保全計画（牧野カルテ）に基づき、牧野組合と協議・調整を図り、整備工事を実施中。

■成 果

- ・防火帯兼用の管理道等の整備により、従前と比較して管理用車両の進入が容易となるとともに走行の際の足場が確保される。これにより、輪地切り・野焼き作業及び移動等牧野管理に係る労力の軽減（効率化・省力化）及び安全性の向上が果たされる。



扇牧野（工事予定地）

■実施者の感想

- ・労力の効率化・省力化および安全性の向上によって牧野の維持管理が継続され、草原の維持・再生に寄与するものと考えている。